

浜通り地方におけるパイプハウスによる夏秋出しトルコギキョウとカンパニュラの組合せ栽培体系

福島県農業総合センター 作物園芸部花き科

部門名 花き—その他の1・2年草—作型、栽培
担当者 佐久間光子・矢吹隆夫

I 新技術の解説

1 要旨

浜通り地方において、パイプハウスの有効利用を図るため、8～9月出荷トルコギキョウの後作として、カンパニュラを10～11月に定植すると、2～3月に出荷が可能である。

- (1) 10月下旬、11月中旬に無加温パイプハウスに定植し、電照処理を行うことによって、2月から3月にかけて出荷することができる(図1)。
- (2) 両作型ともに平均切り花長は70cm以上で、特に11月定植の作型においては、切り花重・花蕾数等が多くなり、ボリュームが優れる(表1)。
- (3) 8～9月出荷トルコギキョウの後作および水稻育苗後のハウスの有効利用が可能となる(図2)。

2 期待される効果

- (1) 今まで作付がなかった、冬期間のパイプハウスの有効利用により所得の増加が見込まれる。
- (2) 春の需要期(卒業式・春彼岸・送別会・ひな祭りなど)に出荷が可能となるため、市場性に優れる。

3 適用範囲

- (1) 浜通り平坦地域
- (2) 無加温のパイプハウスでトルコギキョウ等切り花栽培を行う生産者、および水稻育苗ハウスを活用して花き栽培を志向する生産者

4 普及上の留意点

- (1) 品種は、「チャンピオン」シリーズを用い、育苗期間は35日程度で、発芽適温が15～20℃であることから高温期は寒冷紗等の利用が必要である。
- (2) パイプハウスの保温は、内カーテン・夜間トンネル被覆を行い、最低気温が氷点下にならないよう努める。2月下旬以降、ハウス内の温度が高温となる場合は、25℃を目安に換気する。
- (3) 電照処理は、23W電球形蛍光灯による2時間(23:00～1:00)の暗期中断、定植時から頂花発蕾時まで行う。電照の設置は、栽培様式等にあわせ、光量を確保するため、高さ、間隔を調節する必要がある。
- (4) 夏秋出しトルコギキョウに組み合わせてカンパニュラを10a栽培した場合、約60万円の所得増が見込める(生産量20,000本×1本単価100円＝粗収益200万円、経営費140万円(種苗費、電球等諸材料費、光熱費等))。

II 具体的データ等

| 定植日 | 2月 | | | | | | 3月 | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 1半旬 | 2半旬 | 3半旬 | 4半旬 | 5半旬 | 6半旬 | 1半旬 | 2半旬 | 3半旬 | 4半旬 | 5半旬 | 6半旬 |
| 10月23日 | ■ | | | | | | | | | | | |
| 11月19日 | | | | | | | | | ■ | | | |

図1 カンパニュラの定植時期と収穫時期(2015)

- 注1) 試験場所: 南相馬市原町区高 連棟パイプハウスの1棟
 2) 保温: 農ボリ内カーテン(11月24日~3月1日) 夜間のみ不織布トンネル(12月16日~3月1日)
 3) 品種: 「チャンピオン・スカイブルー」
 4) 電照処理: 23W電球形蛍光灯による2時間の暗期中断(23:00~1:00) 処理時期: 定植時~頂花発蕾時
 5) 電照設置: 高さ90cm、2m間隔で畦中央、トンネル内に光源を設置
 6) 栽植様式: 株間15cm、条間15cmの5条植え

表1 カンパニュラの定植時期と切り花品質(2015)

| 定植日 | 切り花長 (cm) | 莖径 (mm) | 節数 (節) | 全花蕾数 (個) | 有効花蕾数 (個) | 切り花重 (g) |
|--------|--------------|------------|-----------|-------------|--------------|-------------|
| 10月23日 | 75.2±5.5 | 7.1±0.7 | 20.4±2.1 | 17.8±3.0 | 14.0±3.0 | 60.6±12.2 |
| 11月19日 | 76.6±1.4 | 9.2±0.7 | 23.2±1.7 | 28.6±5.9 | 17.8±2.3 | 86.6±9.8 |

- 注1) 試験場所、耕種概要は表1と同じ
 2) 平均値±標本標準偏差

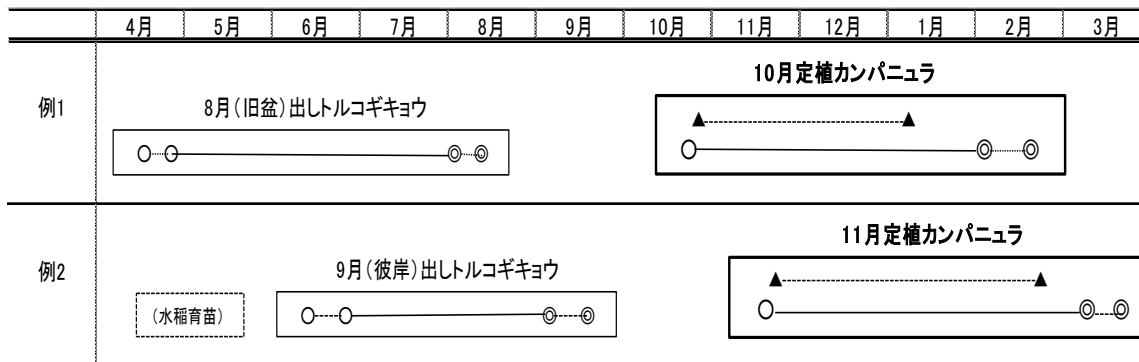


図2 無加温パイプハウスにおけるトルコギキョウとカンパニュラの組み合わせ利用体系 (○:定植 ⊙:収穫 ▲:電照)

III その他

1 執筆者

佐久間光子

2 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成25年度~28年度
 (2) 研究課題名 夏秋トルコギキョウと低温開花性花きの組み合わせによる省力・周年生産実証研究

3 主な参考文献・資料

(活用した事業名: 食料生産地域再生のための先端技術展開事業)